

3月11日（金）実施の探究活動発表会（第2年次生の部）の報告です。

◇ 「伝統の」英語プレゼンテーション

第1年次生の発表に続き、第2年次生が「SDGs とくらし・いのち・きずな」をテーマに発表をしました。感染症対策等のため、昨年度は実施できませんでしたが、もはや当校の「伝統」となりつつある英語を用いたプレゼンテーションを2年ぶりに実施できました。

今回は、一堂に会することはせず、オンラインでプレゼンテーションを各教室に配信する形をとりました。

司会は、後藤雅尚さん（2年6組・生徒会長、右写真）が勤めました。英語を用いた円滑な進行でした。

各ホームルームのタイトルと発表概要は、下表の通りです。



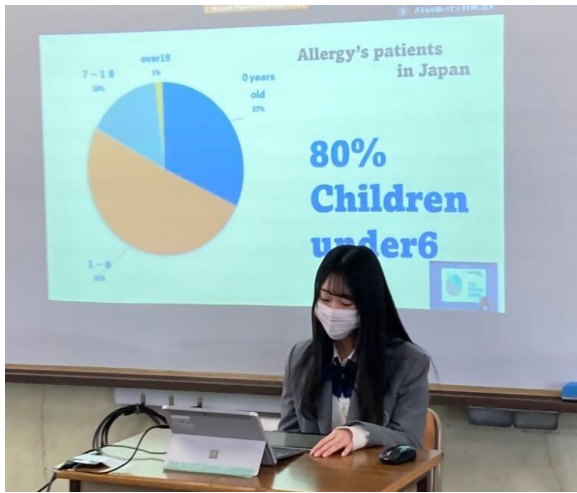
組	タイトル	概要
1	地域の魅力発見 安田萌菜 スミス桃美 前田奈穂	SDGs11「住み続けられるまちづくりを」に基づいて、地域の活性化を進めたいと考えました。そのために自分たちの地域にある道の駅3つに焦点を絞り現場に赴き、駅長さん達からどんな魅力、工夫があるのかを伺いました。
2	認知症の方との付き合い方 長村礼菜 下浦瑞夏 林友佳作里 山田 麗 吉田みなみ	私達は SDGs11「住み続けられるまちづくりを」に着目しました。そこで、年々増加する認知症患者に対する関市の対策と、私達が「認知症患者のサポーター」になるための取り組みを紹介します。
3	子どものアレルギー 後藤さくら 加藤生悟 兼氏藍夏 高井翔太 古田桜一朗	私たちは子どもの食物アレルギーについて研究を行いました。保育園で実際に行われているアレルギー対策のお話を聞き、私たちが考えたアレルギー対応給食の提供をしました。研究を経て、私たちはユニバーサルランチを提案します。
4	食品ロス 井原梗輔 鷺見創汰 廣瀬裕次郎 福住澄空	近年聞く機会が増えた「食品ロス」。世界には約13億トン、日本では約610万トンの食品ロスが存在すると見積もられています。この量を減らすために私たちはいくつかの提案をしたいと思います。
5	LGBTの現状 後藤来希 小林美輝 桜井優衣 水澤陽斗 山口香汰 若泉拓磨	LGBTについて説明してから、LGBTの現状の課題(当事者について)、ジェンダーレス制服とはどういうものであるか、について話します。関市の取り組みについて触れたうえで、最後に私たちの提案を示します。
6	コーヒーかすの再利用 熊谷颯太 山田拓歩 松井大河 石原那菜 河野藍花	現在日本で多くのコーヒーのかすが、そのまま捨てられていることに着目し、コーヒーのかすにある悪臭物質を吸収する性質と防虫効果を利用し、家庭でできるコーヒーのかすの再利用方法を考えました。
7	外来種を食べよう 梅村柀耶 西村春来 蒲亮太 小澤宗右 中谷俊介 馬場壮志	外来種を脅かす外来種を減らすには、食べるのが有効な手段なのではないかと考えました。実際に食べたり、詳しい方にお聞きしたりすることで、抵抗なく食べられる方法を知りました。これを広めることで外来種を減らしたいです。
ほら 加	洞戸キウィは関市、さらに世界を救う!? 古田実久莉 田谷ひなの 嶋口花乃 石原まゆ子	先輩から受け継いだ関市の特産品である洞戸キウィの研究についての発表をします。洞戸キウィの現状、焼肉のタレの製作、今までの活動、そしてこれからについて分かりやすく元気に楽しく伝えます。発表を通して洞戸キウィの魅力を感じてください!!



← 1組の発表の様子
↓ 2組の発表の様子



↓ 3組の発表の様子



↓ 4組の発表の様子



↓ 5組の発表の様子



↓ 6組の発表の様子



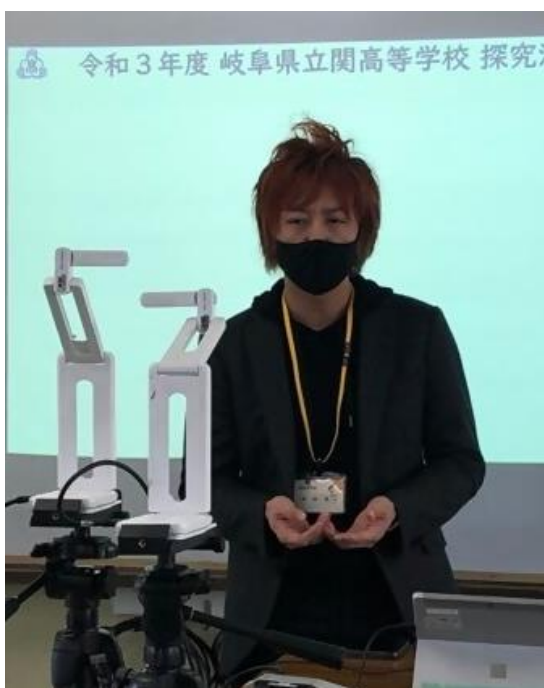
↓ 7組の発表の様子



↓ほらプロ（キウイ研究グループ）発表



↓沖館伽良さん生徒代表挨拶の様子



【ご講評】

(株)シャインカービングアカデミー代表
田中 淳也 さん（左写真）

田中さんからは、生徒の英語発表について、英語で講評をしてくださいました。以下は、要旨です。

まずもって、英語でプレゼンテーションをすることそのものが、チャレンジングであったにも関わらず、皆さんは成し遂げることができた。その点について、大変感銘を受けました。

しかも今回は、単なるプレゼンテーションではなく、リモート形式によるものであった点も特筆に値します。対面でのプレゼンテーションと、リモートでは、やり方もかなり異なります。それすら軽々と乗り越える関高生のポテンシャルを感じました。

中部学院大学
水野 友有 先生（右写真）

水野先生は、1・2年次生両方の発表について日本語で講評をしてくださいました。以下は、要旨です。

当初、関高校がSDGsをテーマに探究活動をすると思いたったときは、難しいのではないかと感じていたのですが、良い意味で裏切られました。皆さんの発表を聞いて、豊かで柔軟な発想力を痛感しました。また、フロントランナーの皆さんを含め、市内の人と共に走り実現できるフォーマットが出来上がったことが分かりました。

霊長類学者で、京都大学の総長を勤められた山極壽一先生は「SDGsには文化がない」とおっしゃっています。確かに、SDGsは、福祉に関する項目ばかりです。しかしながら、今回の発表には、伝統も歴史もありました。そのことに、皆さん自身も気づかれていることと思います。

世の中には、解決できないことがたくさんあります。科学的にわからないこと、数字にあらわれないこと、言語化できないことなど、私たちの理解を超えてくるのが人生にはあります。皆さんが取り組んできた探究活動の経験が、そういった事態であっても、皆さんの助けになると確信させられる

